湊川相野学園ニュース No.40

発行：2018年3月
湊川相野学園理事長室会

ひとを育て、ともに歩んで100周年
MINATOGAWA
since1919

湊川短期大学における
「キャリアデザインとは、どんな講義ですか？」

私は、「キャリアデザインとは、社会人になる上で話し方や考え方などを学ぶだけでなく、就職を通して真剣に社会に貢献するのだという意識を植え付けてくださる授業である」と考えています。特に近年、就職試験ではグループディスカッションを行ったり、人前で自分の意見やグループ内での話し合いの結果について発表するといった試験形式が多く見られますが、授業の中で学んだ話し方の作法や発表の仕方は、自分の不得意分野の克服だけでなく、そんな試験の対策でもあったと考えています。

授業の始めの頃は、当日くじ引きでグループのメンバーを決め、「○○について△分話し合い、まとめて発表しなさい。」と言われると、緊張したものです。最初は「誰がリーダーをしてくれるのだろう？」と班員の顔色をうかがいながら不安に感じていた私が、最後の頃には「リーダーはあなたね。」「書記はあなた。」と進行や、「何か考えはないですか」と発言を促したり、取りまとめができるようになりました。また、人前に出て発表することが苦でなくなり、自分らしい発言を、自信をもってできるようになった、そんな素晴らしい授業でした。

【畑野 真生（幼児教育保育専攻）】

キャリアの授業で学んだ
「言葉に心をのせる」を念頭に朗読する
畑野 真生

三田松聖高等学校「女子バスケットボール部 県新人ベスト４」

第70回兵庫県高校新人バスケットボール選抜優勝大会が２月３日～５日に開催され、本校は女子４位という結果を残した。

女子部に、今年度４月新顧問を迎え、1年生13名でスタートしました。

入学時から「兵庫制覇」を目標に日々練習に励み、6月の県総体では32位となり、夏休みの猛練習で力をつけて臨んだ９月のウインターカップはベスト16と戦績を上げました。そして、冬休みの遠征合宿では強豪校との練習試合で経験を積みさらにパワーアップして迎えた新人戦、「何がなんでも、兵庫制覇！」と全員が一丸となり、走り続け、接戦を勝ち抜き勝ち取った県第４位でした。決して簡単な道のりではなかった。しかし、この結果は選手たちの自信となり、大きな可能性の扉を開く大会であったと思います。また、４名の選手が国体の候補生に選出されることとなりました。

部旗に掲げる“念ずれば花開く”という全員の想いで、次の大会では、兵庫県代表として全国大会に出場できるよう頑張ってほしい。

神陵台幼稚園「はばタンの環境学習」

２月21日附属神陵台幼稚園(園長：濱田康助)で、兵庫県の農政環境部環境政策課が行っている「はばタンの環境学習」を行いました。この学習は県のキャラクターはばタンが幼稚園にやってきて、子どもたちに環境にやさしい生活を呼びかけるものです。

当園では、水の出しっぱなし、テレビのつけっぱなし、傘でのチャンバラ、食べ残しなどをしない約束を子ども達とはばたんがしました。先生からは子どもたちに「もったいない」の言葉を紹介し、おウチでのもったいないを家族と話し合い、身の回りにある何げない資源やものを大切にする心を小さい頃から育むことを呼びかけました。

この様子は、j:com テレビが地域ニュースのコーナーで翌日放送されました。

湊川相野学園教職員「歓迎会・交流会」のお知らせ

平成30年4月2日(月) 三田ホテル 19:00～21:00(受付18時30分～)

三田ホテル（3階花の間）において、学園教職員全員が一同に会し、
相互の交流と親睦を主旨とした「湊川相野学園教職員　歓迎会・交流会」が開催されます。
ご関係者の方々は多忙な時期だとは存じますが、万障繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。